

健康福祉委員会

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

認知症の早期診断、 早期対応に向けて

平成29年度は、「認知症施策の推進について」を年間活動テーマに、認知症の早期発見、早期対応に向けた取り組みについての調査研究を行いました。

認知症の方が、一日でも長く住み慣れた地域で生活できるよう、「人材育成」「認知症予防」「ネットワーク」「地域拠点づくり」の観点で検討した認知症

施策について取りまとめた提言書の内容は、次のとおりです。

【人材育成（教育）の観点から】

認知症を高齢者・要介護者の課題にとどめることのないよう、子どもたちが認知症を正しく理解するため、認知症について学ぶ講座を小中学校等で提供する取り組みを進めること

とを提言しています。認知症への正しい知識を地域に広く啓発する取り組みは、高齢者の課題と捉えられている認知症を、さまざまなまちづくりにつなげていく活動です。

また、関係者に伝達された捜索情報が、より効力あるものとなるよう、行方不明の認知症の方に該当すると思われる方を見かけたときに、声かけする模擬訓練の実施も提言しています。

警察や各関係機関等の捜索協力者間における確実かつ速やかな情報伝達、ネットワークの強化は、大切な取り組みです。



▶1月25日 福祉部へ
提言書を提出

脳が衰えたり、認知機能が低下したりすると、認知症の発症リスクは高まります。認知症の発症を予防し、発症後の症状悪化を遅らせるためには、脳を働かせ、脳の血流を良くすることが大切であることから、脳トレーニング等の認知症の発症を予防するための取り組みを進めることを提言しています。

【地域拠点づくりの観点から】

認知症カフェは、認知症の方や家族、支援者、地域住民などが気軽に集まって交流や情報交換する場所です。しかし、市内の特別養護老人ホームで開催された認知症カフェの視察では、施設の滞在者と従事者以外の地域住

民の参加が見られませんでした。そうした現状を改善するには、気軽に立ち寄れる環境や雰囲気づくりが必要と考え、民間のカフェ店舗を活用した認知症カフェを出張開催することを提言しています。

出張認知症カフェは、幅広い世代の地域住民の気軽な参加が期待できる取り組みです。

認知症施策の推進について



平成30年1月
戸田市議会 健康福祉常任委員会

市民生活委員会

地域や警察と取り組む 防犯カメラ事業に向けて

「安心・安全に向けた防犯体制のあり方について」を年間活動テーマとし、防犯カメラに重点を置いて調査研究を進めてきました。

先進地への視察等を
▶1月25日 市民生活部へ
提言書を提出



実施し、協議した結果「防犯カメラ事業についての提言書」を作成し、執行部へ提出しました。

【電気料金の補助】

町会・自治会にとつて、電気料金をはじめとするランニングコスト等は大きな負担となることから、運用に伴う電気料金を補助することを提言しています。

【防犯カメラ導入後の効果検証と見直し】

今後、防犯カメラの設置範囲を広げた場合、町会・自治会による管理を継続することは大変難しい状況にあることから、各町会の管理状況や効果を検証するためのアンケート等を実施するとともに、協議会等で情報収集や効果的な運用の共有化を



進め、短期間での効果検証と見直しを行うことを提言しています。

【リース契約（保守込み）への切り替え】

防犯カメラ設置拡大の際に保守込みのリース契約へ切り替えを行うこと、町会・自治会が管理する防犯カメラも更新時期にリース契約へ変更すること、最終的には、全ての防犯カメラを保守込みのリース契約に変更し、一括した管理や更新を行うようにすることを提言しています。

【協議会による連携体制】

各町会によって管理体制や積極性に偏り

が見受けられ、今後地域偏在等の課題へつながらざる恐れがあること、また、先進自治体では、町会をはじめとする市民や行政、警察等を含めた協議会を設立することにより、町会等が警察からの助言を受け、効果的な防犯カメラの設置ができるほか、協議会全体での啓発活動を行えるなど、地域協働による事業を展開していることから、本市においても、協力度の構築や情報共有等を図り、地域偏在の解消を進めるため、学校や警察等との協議会の設立を提言しています。

【無線式機器の採用と警察との画像提供協定締結】

警察への画像提供の際の立ち会い作業が管理者の負担となっていること、また、無線機器の防犯カメラを採用すること及び警察との協定を締結することを提言しています。

【周知・啓発看板や垂れ幕の設置】

地域住民への周知・啓発が重要であることから、防犯カメラ設置箇所への掲示のほか、地域や路線においても周知・啓発看板や垂れ幕の設置等を進めることを提言しています。

平成30年常任委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長	委員					
総務	竹内	矢澤	佐藤	本田	峯岸	櫻本		
文教・建設	馬場	石川	林	むとう	金野	熊木	伊東	
健康福祉	遠藤	高橋	浅生	細田	花井	手塚	山崎	
市民生活	三輪	十川	斎藤	土屋	酒井	三浦		

30年度 任期2年目のテーマは？

- 総務委員会 ・市役所業務におけるICT化について
- 文教・建設委員会 ・小中学校の改築等施設整備について / ・コミュニティ・スクールについて
- 健康福祉委員会 ・共生社会の実現に向けた子育て支援施策について
- 市民生活委員会 ・自転車のまちづくりについて / ・保養所のあり方について

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果